

宇沢弘文の思想と理論

土木学会2018.5.28.
帝京大学経済学部 小島寛之

報告の構成

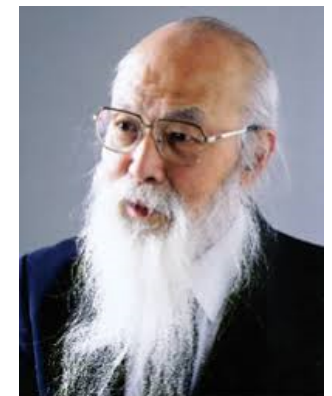
- 第一部:新古典派時代(20分)
- 第二部:制度学派と
社会的共通資本の理論(20分)
- 第三部:社会的共通資本の理論の
現在そして未来(20分)

新古典派時代

1928: 生誕

1945: 旧制一高
(**医学部**進学コース)

ゲーテの「公園」
スミス『国富論』
ミル『経済学原理』
マルクス『資本論』



1948: 理学部数学科
進学

1951~53
数学科特別研究生

代数的整数論
数学基礎論



1953~1956
会社員・フリーター等

ケインズ『一般理論』
アロー『社会的選択と
個人の評価』

自動車の調査?

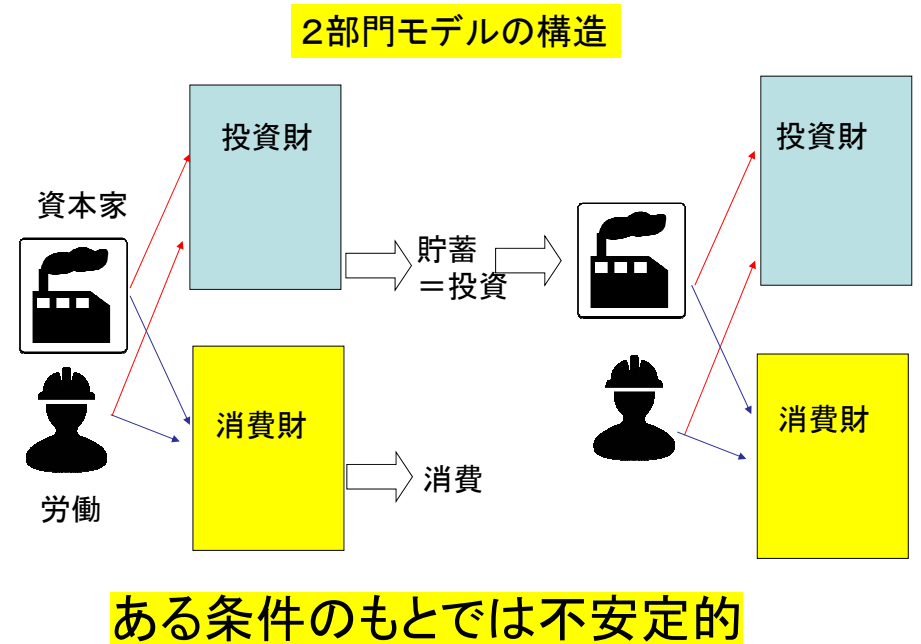
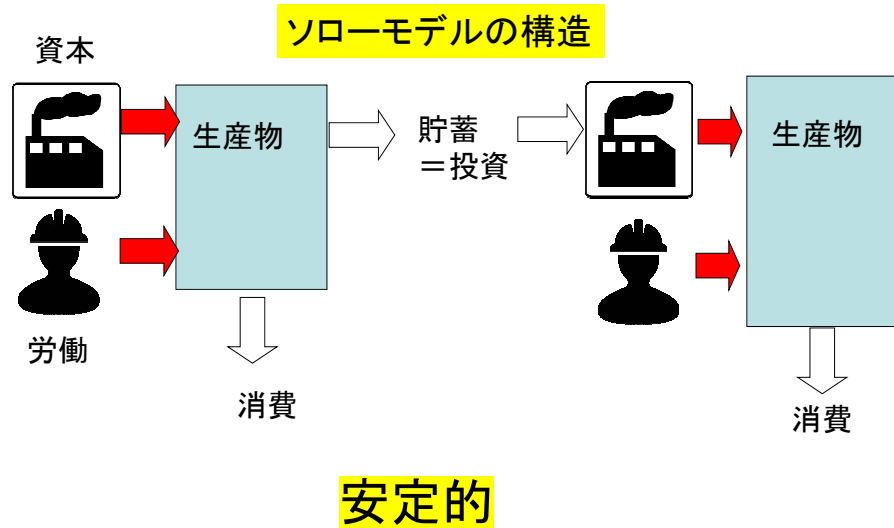


1956
渡米
スタンフォード大学へ
(ケネス・アローの
招聘)



論文: 2部門経済成長モデル(1962)

1. 消費財と資本財がある成長モデル
2. 資本主義経済の不安定性を論証
3. マルクス『資本論』の影響

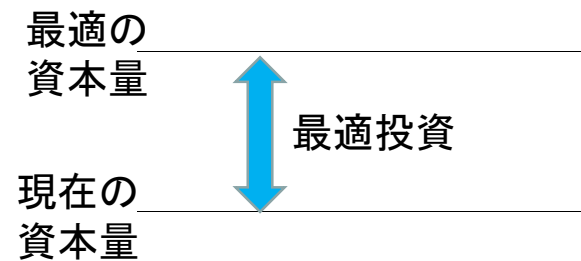


論文: ペンローズ曲線と投資の限界効率
(1969)

1. 新古典派の投資理論の批判
2. ペンローズ曲線の導入
3. トービンの q の導出

新古典派の投資理論の批判

ジョルゲンソンの投資理論



資本量 $\rightarrow K$ 投資量 $\rightarrow \dot{K}$
 ストック フロー

制度学派と 社会的共通資本の理論

論文: ペンローズ曲線と投資の限界効率
(1969)

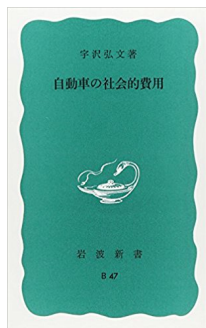
$$\varphi'(\alpha) = \frac{\text{企業の金融価値}}{\text{企業の実物価値}}$$

↑
企業内の
有機的蓄積

↑
トービンのq

自動車の社会的費用(1974)

自動車が社会にもたらす
弊害を告発する。



自動車の社会的費用の計測

社会的費用 = 社会に与えている損害

宇沢以前の3つの計測

運輸省(1968) 7万円/1台

自動車業界(1971) 6622円/1台

野村総研 17万8960円/1台

自動車の社会的費用の計測

宇沢の計測

200万円/1台

宇沢の計測根拠

市民の基本的な権利を回復するための額

車道を左右4メートルずつ広げ、
歩道と車道を並木道によって分離する。

「そうであったかもしれない世界」
「過誤に対する支払い」
「過去の最適化」

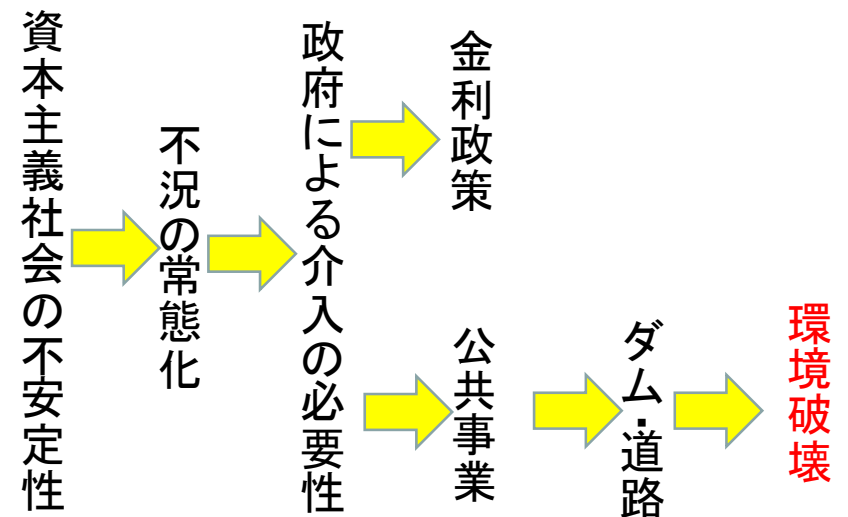


近代経済学の転換(1986)

経済学批判
市場原理主義批判



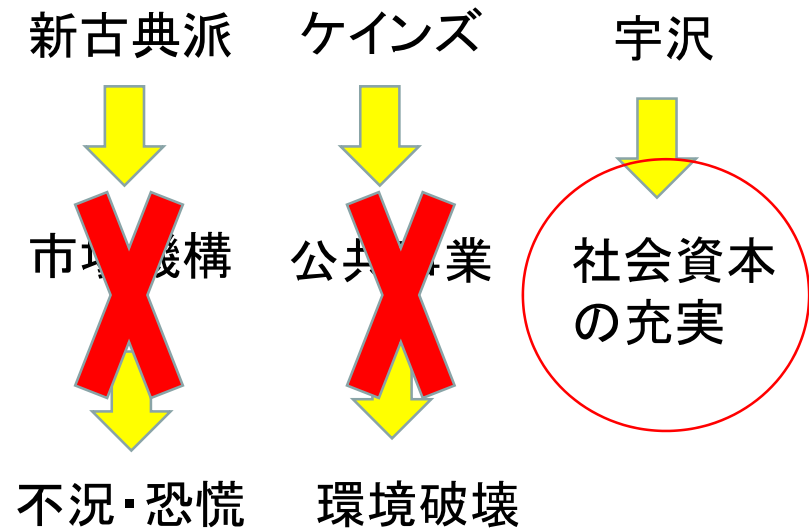
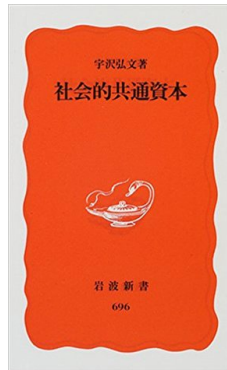
ケインズ経済学の功罪



近代経済学の再検討(1977)

社会的共通資本の理論(2000)

新しい経済制度の提唱



社会的共通資本とは

市民一人一人が**人間的尊厳**をまもり、
魂の自立をはかり、
市民的自由が最大限に保たれる
ような生活を営むために
重要な役割を果たす財や社会的装置

社会的共通資本の種類

社会資本
(道路・下水道・鉄道)

制度資本
(学校教育・医療・金融)

自然資本
(河川・森林・大気)

社会的共通資本の経済学的位置づけ

社会的共通資本 ≡ 公共財

通常の財

公共財

排他性

集団性

	社会資本	制度資本	自然資本
本来性	生存の補強	基本的人権	現存在
言語性	コミュニケーション(パターンランゲージ)		
歴史伝承性	世代を経ながら、継承し、伝える		
地域文化性	コモンズ 地域の特性を活かしながら発展する		
技術性	物的	知的	資源的

クリストファー・アレクサンダーの都市論

パタン・ランゲージ

人だまり

座れる階段

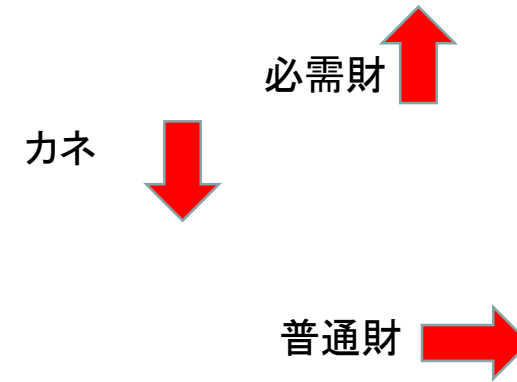
都市の多機能性

社会的共通資本の理論の 現在そして未来

- 貨幣的不況動学
- 選好の内生化
- 帰納的ゲーム理論

カネよりインフラ

インフレーション時の根拠(宇沢1982)



デフレーション時の根拠 (小野善康の長期不況均衡理論)

1. シドラウスキーの貨幣的成長理論を使う
2. 貨幣選好に関する非飽和の仮定を入れる
3. 不況定常均衡

カネを配ってもダメ、インフラ投資を！

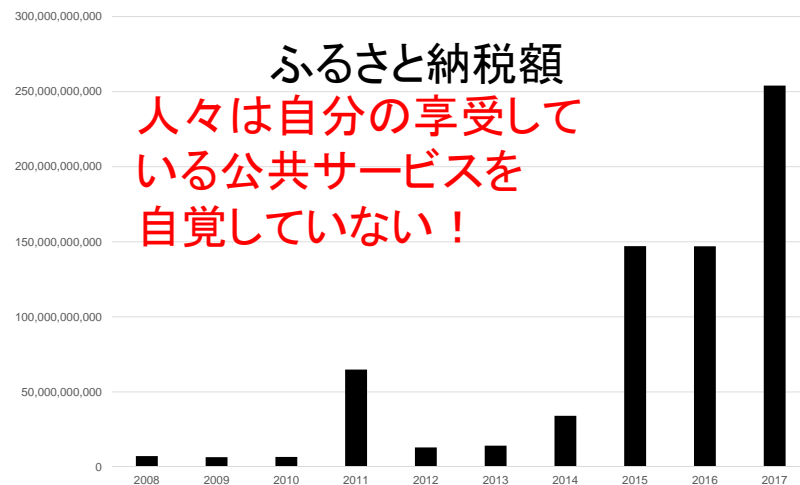
カネを経由する社会政策の問題 その1

学校教育をクーポン配布制度にする
(フリードマンの提案)

学校教育を受けないことで生じる
損害が主たる問題ではない。

自分に生じている損害が、学校教育を受けなかった原因から来ることでさえ、
認識できない。

カネを経由する社会政策の問題 その2



選好の内生化

選好＝人が内面に持っている個人的好み

従来の経済学→選好は生まれ持って、
決まっていて変化しない。

新しい経済学→選好は環境や経験によって
変化する。

選好の内生化を主張する主たる学者

ジョセフ・スティグリッツ サミュエル・ボウルズ

ボウルズによる選好の内生化の例

道徳感情と物質的利害の分離

2歳未満の子供
何もないとき、大人を助けようとする。
→ご褒美を与えると、急激に減る。

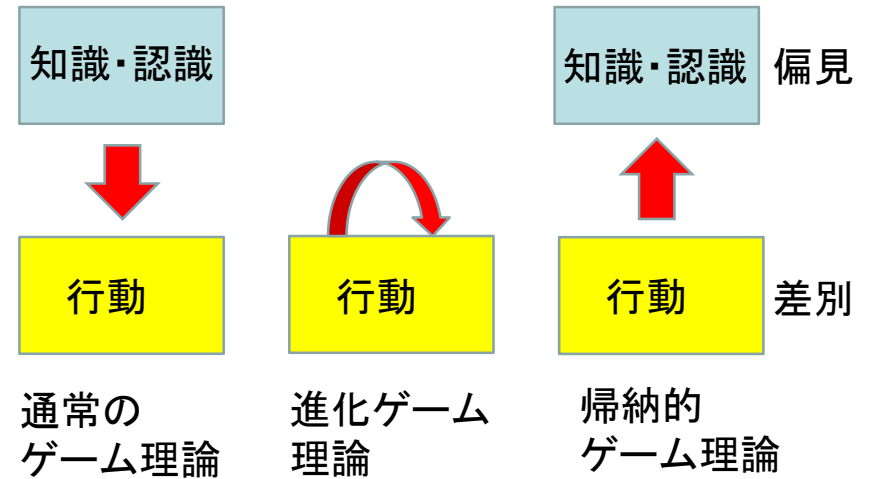
消防士の欠勤→月金に欠勤が多い
→有給休暇の制限→クリスマスと元日の
欠勤が10倍になる

市場化によって、人々の選好が変化する！

金子&松井による帰納的ゲーム理論

偏見から差別が生まれるのではなく、
差別から偏見が生まれる！

帰納的ゲーム理論とは何か



社会的共通資本が解決できるかも？

経験からの思いこみは、
公共財によって
脱出できる可能性がある

社会的共通資本の理論とは どんな理論か？

1. 実践的
2. 経験科学的
(帰納科学的)
3. 哲学的
4. 人間愛に満ちて
崇高

